

地球上にやさしい！オリジナルカレーコンテスト

17

| | | | | | | |
|------|---|---|-----|--|--|--|
| 所 属 | 名古屋市立汐路小学校 | | 実践者 | 國安 里架子 | | |
| 対 象 | 小学校 6 年生 (136 名) | | 実践日 | 2023 年 11 月～12 月 | | |
| 実践教科 | 外国語科 | | 時間数 | 9 時間 | | |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食の多様性に気付く。 ・食料自給率について知り、普段食べているものと世界のつながりを考える。 ・「地球上にやさしい」オリジナルカレーを考えて発表し、自分達が大切にしたいことを考える。 | | | | | |
| 実践内容 | 回 | プログラム | | 備 考 | | |
| | 1-2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の食の多様性に気付く。 私たちは普段どんなものを食べている？スライドを見ながら、日本の食の多様性に気付く。 | | パワーポイント | | |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の食料自給率について知る。 様々な食材の食料自給率について、クイズ形式で知る。 | | パワーポイント | | |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 食料自給率が低いことの問題点を考える。 食料自給率が低いことによる問題点の資料を提示する。 ・フードマイレージ ・バーチャルウォーター | | 井出留美「食品ロスの大研究」から引用 | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「海外からの輸入がストップしたら？」どうなるかを話し合う。 食生活が世界とつながっていることを考える。 【派生図・因果関係図】 | | 児童用タブレット ロイロノート 共有ノート機能活用 | | |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで授業内で学習してきたことや、栄養士の食育授業、家庭科の授業内で学習してきたことをもとにオリジナルカレーの食材を考える。 | | (以下最後まで) タブレット ロイロノート 共有ノート機能活用 | | |
| | 6-7 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時で考えた食材の生産地や栄養素などを、英文にし、発表の練習をする。 | | | | |
| | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地球にやさしいオリジナルカレーをグループ発表する。 発表内容は、カレーのテーマ・使用食材と産地、栄養素グループ（英語）と、地球環境への配慮（日本語）で行う。 スライドを提示しつつ、英語で発表をする。英語で説明しきれない環境問題のところは 1 分以内に日本語で話す。発表グループ以外の児童は審査員も兼ね、発表態度や地球環境を考えているかを審査し、投票する。1 位のグループのカレーは教員が実際に調理する。 | | | | |
| 成 果 | 参加型手法を用いたことで、食べ物のことについて自分が得た知識などを共有しながらみんなで考えることができ、児童が自分事として捉えることができた。またグループでオリジナルカレーを考え投票させる形にしたことで、地球環境に配慮した食について、熱をもって考え、発表することができた。 | | | | | |
| 課 題 | 食に関わる問題を提示する際に、時間の関係上、指導者側から駆け足で提示しただけになってしまった。ここで参加型手法などを用いてもう少し深く考えることができたら、その後の発表もより深まるのではと思った。また、学習を終えた時点で参加型手法をとって自分の考えを深められるとよかったです。 | | | | | |
| 備 考 | この授業を行う際に、事前に栄養士の食育についての授業（食品ロスなどがテーマ）や社会科や家庭科の授業でも学習したこともあり、児童が本授業以外で得た知識も取り入れて考えることができていた。 | | | | | |